令和2年度

事業計画書

学校法人 足立学園

1. 法 人 の概 要

(1) 建学の精神

「質実にして知性高く、宗教的情操を身につけた真人を育成する」

(2) 設置する学校・学部・学科等

愛知文教大学 大学院 国際文化研究科

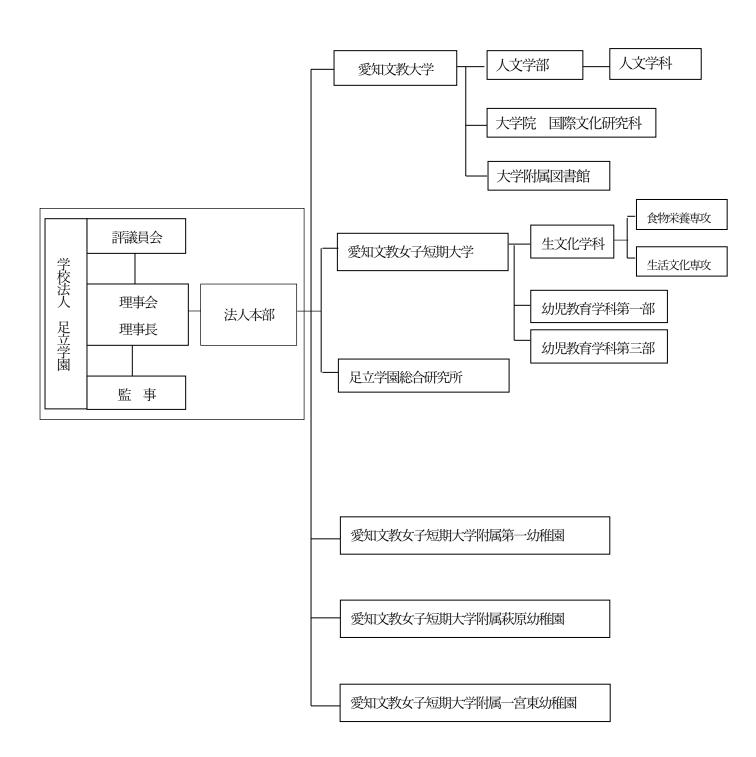
人文学部 人文学科

愛知文教女子短期大学 生活文化学科

幼児教育学科第一部 幼児教育学科第三部

愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園 愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園 愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園

(3) 学校法人足立学園の組織図 (令和2年度)



(4) 設置学校の収容定員・学生数等の状況

2020年3月1日現在

						, C)1 I I	
学校名	学部・学科名	収容定員	1年	2年	3年	4年	計
愛知文教大学	人文学部	470	129	114	75	75	393
	大学院修士課程	16	0	1			1
	小計	486	129	115	75	75	394
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	140	65	96		\setminus	161
	幼児教育学科第1部	160	82	82	\setminus	\setminus	164
	幼児教育学科第3部	210	71	101	70		242
	小計	510	218	279	70	\setminus	567
学校名		収容定員	3歳児 (満3歳含む)	4歳児	5歳児		計
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		360	119	110	97		326
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		270	119	74	87		280
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		207	76	54	78		208
計		1,833	661	632	407	75	1, 775

令和2年度 愛知文教大学 事業計画

教育研究活動

・愛知文教大学中長期計画のセカンドプロセス3年目に入る。「教育の質の保証」を充実する。 令和元年度「私立大学等改革総合支援事業」の選定結果、本学は「タイプ1」で52点を取得し、 選定基準48点を超え、見事選定されました。 2020年3月17日(足立学園理事会)報告済

タイプ1「教育の質的転換」(200校) 全学的な体制での教育の質的向上に向けた取組を支援 OSD、FDの実施状況 Oアクティブ・ラーニングによる授業の実施 O教育改革に対する学内予算措置 等 高大接続改革に積極的に取り組む大学等を支援 Oアドミッション・ポリシーにおける求める学生像の明示 O多面的・総合的な入試への転換 Oアドミッションオフィサーの配置等による入学者選抜体制の充実強化 「高等学校教育と大学教育の連携強化 等

- ・学部、大学院のFD(ファカルティデベロップメント)活動の一つとして、全授業公開を実施する。 及び全学的SD(スタッフデベロップメント[教職員研修])を定期実施する。
- ・科研費の取得と研究の充実

交換留学生・編入生・海外提携大学科目等履修生(編入学、大学院入学等を実現するため予備履修制度)

- ・交換留学協定締結 ①北京外語大学 ②北京聯合大学 ③三江学院大学 ④スアン・ドゥシット大学ホアヒン校(タイ)
- ・大学間協定締結 ①天津職業技術師範大学 ②三江学院大学 ③南京工業職業技術学院 ④長江 師範学院 ⑤廣東省外語藝術職業学院 ⑥青島職業技術学院 ⑦四川外国語大学 ⑧Fairmont State University(ウエストバージニア州立大学)

教員免許更新講習会開催

本学教職課程研究センターにて教員免許状更新講習会を実施する。

今年度は短期大学とのタイアップを実施し、幼児教育関係の免許更新にも当たる。

地域·社会活動

- ・小牧市の要請に基づき各種委員会等に委員として教員の参加
- ・小牧市の文化財啓発事業に協力し、古文書入門講座、小牧市歴史講座、小牧市歴史基礎講座、小牧 市文化財地図作成等を実施していく。
- ・小牧市学習チューター制度等への協力においては、小中学校の学習支援を行う。
- ・小牧市国際交流協会の事業への協力 「国際こども教室」、「ワールドレストラン」「スポーツ交流 会」「国際交流ふれあいフェスタ」にボランティアとして学生が参加する。小牧市協働推進課とN PO法人小牧市市民活動ネットワークが開催した「こまき市民活動祭」に参加する。
- ・小牧市、犬山市、春日井市との連携事業を開拓する。

高大連携事業

愛知啓成、大成、津島北、犬山南高等学校他 11 校と提携し、提携校奨学金制度の充実を目指す。

大学入学共通テスト (旧センター試験) 制度

大学入試センターの新試験制度実施と大成高等学校での大学入学共通テスト試験会場続行

アジア語学研修の充実 (フィリッピン英語研修、台湾中国語研修)

フィリッピンセブ島: IDEA CEBU、台湾:台湾師範大学国語教学センター 2 週間(期間検討中)の語 学学修を実施する。

今年度は実施が困難である。1年送りで実施計画を立てる。

令和2年度愛知文教女子短期大学事業計画書

2020.3

1 · 将来構想基本計画

ブランドビジョン「ひとを想う挑戦」を念頭に置いて以下の事業を推進

- ① 中長期計画(2020~2024)の推進 急変する社会情勢に合わせ、新たな中長期計画の立案と推進を図る
- ② 70 周年にあたる 2021 年に向けて記念事業の計画を策定する 記念事業、寄付金の募集の検討
- ③ 2022 年短期大学基準協会第三者評価(第3期認証評価)受審に向け教育改革の推進 自己点検の実施 「教育の質保証」の明確化
- ④ 教育の内部質保証のため、その方針と手順を作成し推進する

2 • 重点事業6

本学の存在意義:一生涯生き甲斐ある幸せな生活を送ることができる女性を育てる

ビジョン:ひとを想う挑戦

教育ビジョン: 高度な教養と専門性を備えた専門的人材を育成する。

研究ビジョン:創造的研究に取り組み、産業界・教育界から評価される研究成果を発信する

社会貢献ビジョン:地域に必要とされる短大を目指す。地域のニーズに対応して、地域社会と協調

を図りながら、研究・教育成果を用い地域発展に貢献する

経営ビジョン:中長期にわたる収支の適正化

●教育改革·学生支援戦略

①愛知文教大学への編入強化

生活文化学科 生活文化専攻学生の編入を奨励

②食物アレルギー認定団体設立の検討

私学研究ブランディング事業の発展形として、足立学園総合研究所に事務局を置く研究会を開催 し、食物アレルギー認定団体設立に向けて検討する。

③教育の質保証

- 自己点検・評価への組織的な取組み(認証評価指摘事項):他大学と相互評価、外部評価委員会 発足、自己点検評価委員会の定期的点検、評議員会へのヒアリング、中長期計画の点検を 行う。
- ・令和2年度:将来構想会議の傘下に改革総合支援事業WGをおく。令和元年度の調査票を基 に、各部署に検討課題を下ろし、進捗状況を確認する。
- 教育の質保証を図る: 3 P の定期的な点検、「教学マネジメント」指針策定(学修の可視化、実務系教員の積極的採用【教育:専門性向上】)、教員の教育力強化のため研究環境整備【研究】、シラバス整備(認証評価指摘事項)、FDSD の規定整備(認証評価指摘事項)、入学定員適正化(認証評価指摘事項)
- ・令和2年度:アセスメントポリシー導入。3P見直し、シラバス整備、FDSD規定整備

● 地域連携戦略

④足立学園総合研究所の地域貢献連携センターとしての役割整備

Adachi fashion academy 春期講座・秋期講座の開講、いなざわコミュニティーカレッジ、いなざわサマーカレッジ 2020 (子どもゆめ基金申請済)、キッズデザイナースクール 2020 (子どもゆめ基金申請済)、稲沢市との連携講座、地域連携事業

産学連携事業強化(包括協定)、大学ブランディグ強化、リカレント教育、収益性事業強化

●経営基盤戦略

⑤文教おやこ園アウトリーチ型事業等による外部資金獲得

稲沢市の委託事業 (運営経費補助金獲得) →アウトリーチ事業により外部補助金獲得【地域貢献】

●キャンパス整備戦略

⑥ラーニングコモンズ整備

絵本ルーム、読書スクール等を通して、地域に開かれた図書館を整備しつつ、学生の学びの質を 高める

3・地域に根差した取組み

- ①学科の特色を活かした取組
 - 幼児教育学科

文教おやこ園の事業推進(2020年4月~稲沢市役所委託事業として補助金による運営) 第12回文教子どもフェスタの開催 2021.1.16(連続12年継続事業)

• 食物栄養専攻

食育講座「めざせ!ちびっこシェフ」(連続 17 年継続事業)

「おいしい笑顔!野菜レシピコンテスト」(連続13年継続事業)

• 生活文化専攻

職業実践力育成プログラム(BP)による社会人教育 高齢者福祉施設における七夕茶会の開催 地域産業との協働プログラムの推進

②稲沢市との連携事業

平成 25 年に締結した「連携に関する包括協定」関連した生涯学習事業、子育て 支援事業、食育に関する講師派遣等

③足立学園総合研究所

「地域貢献連携センター」としての役割を新たに設定し、重点事業として推進

3. 財務の概要

(1) 資金収支予算書 (令和2年度)

(単位:千円)

	科目	予算額	前年度予算額	
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,225,123	1,204,450	
	手 数 料 収 入	18,074	18,284	
	寄 付 金 収 入	15,525	15,185	
	補 助 金 収 入	307,019	307,704	
	資 産 売 却 収 入	0	204	
	付随事業 • 収益事業収入	112,534	79,708	
	受取利息・配当金収入	15,536	15,537	
	雑 収 入	73,483	116,382	
	借入金等収入	0	0	
	前 受 金 収 入	387,948	442,939	
	その他の収入	525,340	571,643	
	資金収入調整勘定	△ 442,158	△ 464,521	
	前年度繰越支払資金	1,230,380	1,155,595	
	合 計	3,468,804	3,463,110	
支出の部	人 件 費 支 出	925,256	955,788	
	教育研究経費支出	469,580	399,284	
	管 理 経 費 支 出	329,625	339,277	
	借入金等利息支出	14	17	
	借入金等返済支出	0	0	
	施 設 関 係 支 出	108,359	37,036	
	設 備 関 係 支 出	57,189	33,125	
	資 産 運 用 支 出	0	0	
	その他の支出	608,264	569,104	
	予備費	5,000	5,000	
	資金支出調整勘定	△ 45,882	△ 105,901	
	翌年度繰越支払金	1,011,399	1,230,380	
	合計	3,468,804	3,463,110	

(2) 事業活動収支予算書

(令和2年度)

(単位:千円)

科目		科目	予算額	前年度予算額	
活動収入の		学生生徒等納付金	1,225,123	1,204,450	
	本	手数料	18,074	18,284	
	単業	寄付金	15,525	15,185	
	活	経常費等補助金	307,019	307,704	
		国庫補助金	215,724	200,273	
	入	地方公共団体補助金	91,295	107,431	
	部	付随事業収入	112,534	79,708	
		雑収入	73,483	116,382	
支		教育活動収入計	1,751,758	1,741,713	
	事業	人件費	937,656	943,838	
	活	教育研究経費	624,080	554,734	
	動支	管理経費	354,105	363,757	
	出の	徴収不能額等	0	1,500	
	部	教育活動支出計	1,915,841	1,863,829	
		活動収支差額	△ 164,083	△ 122,116	
教	事業活	受取利息•配当金	15,536	15,537	
育活	動収入	その他の教育活動外収入	0	0	
活動	部	教育活動外収入計	15,536	15,537	
外	事業活	借入金等利息	14	17	
収支	動支出	その他の教育活動外支出	0	0	
	部	教育活動外支出計	14	17	
	教育活動外収支差額		15,522	15,520	
		収支差額	△ 148,561	△ 106,596	
	事業活	資産売却差額	0	0	
特	動 収 入	その他の特別収入	0	0	
別	八の部事業活動支出	特別収入計	0	0	
収支		資産処分差額	0	1,300	
		その他の特別支出	0	210	
	部	特別支出計	0	1,510	
	特別収支差額		0	△ 1,510	
	予備費		5,000	5,000	
	基本金組入前当年度収支差額		△ 153,561	△ 113,106	
基本金組入額合計		金組入額合計	△ 67,975	△ 75,941	
	当年度収支差額		△ 221,536	△ 189,047	
	前年度繰越収支差額		△ 4,791,761	△ 4,602,714	
	基本金取崩額		0	0	
	翌年度繰越収支差額		△ 5,013,297	\triangle 4,791,761	
(参考)					
	事業活動収入計		1,767,294	1,757,250	
	事業活動支出計		1,920,855	1,870,356	